



～礼儀と節度を考える～

# 平成武師道

## 〈人間活動学〉

新渡部稲造が、ノーブレスオブリュージュ(社会的地位のある者たちの義務)を明治時代に武士道の名の下に提唱した。

義・仁・智・礼・信などが徳の項目へ続いていく思想であり、それが行動にも続いていく道がノーブレスオブリュージュ、すなわち果たすべき義務だと思う。

平成武師道は武士から武師へと変わる時代という事で、私は平成を頭に付けた。

平成の時代になり、サムライからマスターという意味で士から師に字を変えた訳だが、その土台には果たすべき義務があり、私もこの8月17日で45歳になったのを切っ掛けに、どうすればこの日本が強くなり、平成武師道で何ができるかを考えてみた。

私は今まで平成武師道の名の下、多くの経営者に会い、各地で講演をこなし、人材育成のシステムも構築した。

その中で企業の社員研修を通して、彼ら研修生たちが大人としてやるべき事、やらなければならない事に気づき、少しでも行動していく事によって、自己の向上、家庭の充実、会社の成長、国の繁栄へと繋がってもらいたい。

そこで私はこれからの残りの人生を、平成武師道を通して日本に於ける肉体文化、精神文化の向上に一役買っていこうと思う。

その第一段階として、男性も女性も参加できる人材育成研修を無償で行っていこうと考えている。

内容としては1泊2日の短期間研修だが、まずは入門編としては最適だと思う。

たかが1日や2日で何が変わるのかと思われるかもしれないが、人間変わる気があれば、1秒もあれば気づく者もいるし、1年続けても理解できない者もいる。

とにかく私自身が共に参加者たちと体力を鍛え、知力を伸ばし合い、世界に出ても誇りある正義を持った人間を輩出していく事が、私にとっての果たすべき義務ではないだろうか。

まずは平成武師道で掲げている徳目のひとつ、克己心にだけでも気づき、人生という闘いに挑むのも己、克服するのも己と、自覚できる社会人を一人でも多く出していく事に努めていこうと思う。

いきなりそれで国や世界を変えられる訳もなく、私一人だけでも出来る訳でもない。

肝心なのは身の回りから少しずつ動いて、小さな渦を少しずつ大きく作り上げていく事だ。

感じたら、やる事だ。

時間を見方に付ける。

多くの武師道メンバーの同志には多大なる応援を受けているからこそ、今、私は人材育成を通じて果たすべき義務を実践していく所存である。